

京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名：舞鶴市

1. 平成24年度 行財政改革推進計画（行財政改革推進枠）について【総括表】

計画の概要等	これまでの取組	取組状況	地方分権が進められ、自治体自らがその責任で施策を遂行することが求められる中、本市においては、前例にとらわれず、自らを改善し続ける組織づくりを進めるため、職員と市民が政策の企画・立案段階から学習、意見交換することによって、政策形成能力の向上を図る「政策づくり塾」や職員研修を進めることにより職員の資質向上に努めた。	
		成果	参加職員の意識改革、意欲向上をもたらすことが出来た。	
		問題点	研修等への参加職員から、それ以外の職員への波及効果をもたらすことが、課題である。	
	今後の取組	中・長期的な市町村の課題	自主財源の増加が見込めない財政環境にある中で、本市の公共施設の多くが近い将来改修・更新を必要とする時期を迎え、その費用が大きな財政負担となることが想定される。	
		中・長期的な市町村の取組目標	公共施設改修等経費の節減、平準化や施設の見直し、有効活用促進等を進める。	
		目標達成に向けた具体的な取組	利用促進や適切な維持管理、施設の見直しを進めていくための基礎資料として、市が管理する公共施設を対象に、建物の状況や利用状況などの実態を調査し、データベース化を図り、地域別・分野別・施設別に設置目的や配置状況、利用状況、維持管理費や老朽の度合い等を横断的、多面的に分析し、課題を整理し、公共施設マネジメントの推進を図る。	
平成24年度行財政改革推進計画に伴う事業実績による行革効果について				
事業名・実施項目		取組実績の概要	主な実績数値（出来高数値等）	行革効果（単位：人・千円等）
公共施設マネジメントシステム構築事業		市が保有する公共施設を対象にその機能や配置、経年劣化や利用状況、運営や経費の状況など、公共施設の現状を様々な角度から整理し、公共施設の再生を進めていく上で基本的な考え方や進め方についての素案として示す「公共施設マネジメント白書」をまとめた。	市が保有する139施設、延床面積約31.85万㎡	

（記載要領）

- 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 「主な実績数値（出来高数値等）」、「行革効果」については、出来るかぎり数値化した客観的な指標を記載すること。

京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名

舞鶴市

2. 平成24年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について

支援区分	事業名・実施項目						
行財政改革推進枠	公共施設マネジメントシステム構築事業						
事業着手前							
課題・現状	公共施設については、現在各担当課で運営、維持修繕を行っているが、市全体の施設管理状況を横断的に把握することが困難である。 また、施設改修についても各担当課で執行しており、市全体で年度間の平準化ができていない。						
事業概要	市が管理する公共施設を対象に運営状況などの実態を調査・記録し、データベース化し、管理運営に活用すると共に、利用促進や適切な維持管理、施設の見直しを進めていくための基礎資料として、地域別・分野別・施設別に設置目的や配置状況、利用状況、維持管理費や老朽の度合い等を横断的、多面的に分析し、課題を整理し、公共施設マネジメントの推進を図る。						
期待される事業効果等	適切な維持管理、維持更新時期の見直し等を行うことで、財政負担の軽減と平準化を図りつつ、資産の適正な所有、利活用、維持管理を行うことが可能となる。 また、全庁的に同一の管理システムを使用することにより、管理の省力化ができる。						
事業実績							
取組状況	市が保有する公共施設を対象にその機能や配置、経年劣化や利用状況、運営や経費の状況など、公共施設の現状を様々な角度から整理し、公共施設の再生を進めていく上で基本的な考え方や進め方についての素案として示す「公共施設マネジメント白書」をまとめた。						
主な実績数値 (出来高数値等)	市が保有する139施設、延床面積約31.85万㎡						
期待される事業効果等 に対する達成状況	-	(左の理由)	今後白書を基に、公共施設再生計画の策定につなげていくもの				
行革効果							
行革効果の考え方	公共施設マネジメントシステム構築により、施設管理関連職員 1名						
年度	H26	H27	H28				
行革前(a)	34,828	34,828	34,828				
行革後(b)	28,881	28,881	28,881				
行革効果(a)-(b)	5,947	5,947	5,947				

(記載要領)

1 事業毎に調書を作成すること

2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、「達成」、「未達成」を記入し、その理由を右欄に記載すること。